

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事	平成28年 7月 28日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府福知山市長田野町二丁目2番地	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 武田ヘルスケア株式会社 代表取締役 有本 恵一郎

環境マネジメントシステムの名称	環境マニュアル JIS Q14001:2004/ISO 14001:2004
適用範囲	武田ヘルスケア株式会社でのあらゆる活動、製品及びサービス
導入年月日	<登録日> 平成19年 11月 16日
認証番号	07ER-674
基本方針	武田ヘルスケア株式会社は、武田ヘルスケア コンプライアンス・プログラムに則り、かけがえない地球環境を守るために、全ての企業活動において環境への影響を重視し、社会的使命として積極的かつ継続的に、環境を保全し、環境マネジメントシステムを向上させます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	<2016年度目標> 1. 省エネルギー(電気・ガス使用量の削減) 2015年度使用量を維持する 2. 省資源(用水使用量の削減) 2015年度上水使用量を維持する 製剤生産の2015年度工水使用量を維持する 3. リサイクル使用の推進(廃棄物のリサイクル率をアップする) リサイクル率のアップを検討し、リサイクル率を65%にする 4. 廃棄物の低減(リサイクル処分を除いた廃棄物の低減) リサイクル処分を除いた2015年度廃棄物量の5%削減 5. 法規制の順守(届出の100%順守) 環境関連法規制に関する届出を100%実施する
目標を達成するための取組の内容	1. 圧空漏れ箇所修理によるコンプレッサーの効率的運転・第2変電所高効率トランス導入、貫流ボイラ導入に伴うボイラ効率的運転、不要照明消灯・空調機運転制限・原料の試験省略・全員参加の環境活動手順の順守など 2. ブロー水の回収・使用量の把握による節水の啓発など 3. 分別確認表による確認・コピー用紙分別廃棄・埋立、焼却処分廃棄物のリサイクル処分候補選定、紙袋、アルミ袋のリサイクル化など 4. 廃糖衣液の練り込み廃棄使用原料削減・作業用手袋の代替品検討・秤量袋の適正化・原料袋の破れにより発生する原料漏洩の低減・コピーの裏刷り推進など 6. 届出業務管理表を用いた順守状況確認など
目標を達成するための取組の進捗状況	各部門共、全員参加の環境活動手順書の順守に併せて、部門として不要用役機器の停止・空調機の運転制限・ボイラ給水温度昇温によるボイラの効率的運転・原料試験省略の実施等、電気・ガス使用量削減に取り組んだ。また、無駄なコピーの防止、両面印刷の推進、裏刷り紙の使用を継続して推進、廃棄物としては、金属・ガラス瓶・コピー用紙・新聞・雑誌類・ダンボール・空瓶・包材紙管等・廃プラスチック(ポリ袋類)の継続的なりサイクル処分に併せ、2013年度から汚泥のリサイクル処分を開始し、2015年度は、年間排出量の全量をリサイクル処分した。また、廃プラスチック(PTP屑類)のリサイクル処分化への取り組みとして、処分・収集運搬業者選定を行い委託契約を実施、2016年度よりリサイクル処分委託を行う。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	「全員参加の活動手順書」を順守し、全社の環境(省エネルギー・省資源・リサイクル使用の推進・廃棄物の低減・法規制の順守)達成のため、各部門共、部門の目的目標を設定し、概ね計画通りに取り組んだ。省エネルギー(ガス使用量の削減)及びリサイクル使用の推進(汚泥のリサイクル処分化)については、目標を達成したが、その他、目標項目である省エネ、省資源、リサイクル使用の推進、廃棄物の低減、法規制の順守については、生産量増加の影響や届出遅延発生により、目標未達成となった。
事業活動に係る法令の遵守の状況	毎年4月に関連する環境法規制の順守状況を定期的に評価するため、ISO事務局が「環境法規制等登録表」に従い、順守評価し、環境管理責任者に報告する。 平成27年度は、届出が必要であった9件中の2件について、届出時期遅延(事後届出)が発生し、「不適合/是正処置報告書」2件を発行し、再発防止処置を行った。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	5月18日に、社長による環境マネジメントレビューを受けた。環境方針に変更はないが、環境目的・目標である省資源(用水使用量の削減)の取組みについて、工水の使用用途が限られているため、上水・工水それぞれの目標項目を定め見直すよう変更指示があり、2016年度からの環境目的・目標に反映した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。